

# あけましておめでとうございます



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。

昨年十月一日、合併によって誕生したわが南部町も早三か月が経過しました。皆様には新しい町となった実感はすぐには沸かない事と拝察しますが、行事を協同して取り組む等の中で融和を図って頂きますようお願いしております。そして力を合わせ一体感を持って南部町の発展を期して参りましょう。町政においては、空席となっていた

助役、暫定だった教育委員会の体制も整いました。新しい町づくりに向けて力いっぱい頑張つて参りますので、ご協力を賜りますように職員共々よろしくお願ひします。

## 地方分権を住民自治へつなげる

私は十二月定例議会において、町政運営に臨む所信表明をしました。わが国では社会の変化に対応して、従来中央集権的に行ってきたシステムを地方分権型に変換して行くこととされ、地方分権一括法の施行により国と地方の関係が、上下主従関係から対等協力関係に一変しました。

地方分権の受け皿としてのまちの規模は、人口一万人以上が望ましいとされ、市町村合併が推進されてきたのであります。私は合併して南部町になったこの機会に、地方分権を住民のものとする為に「地方分権を住民自治へつなげる」ことの必要性を強調しました。地方分

権を国や県から、町への財源や権限の移譲に止めずに、住民の皆さんまで届けて行くというものです。

具体的には自らの地域課題について自らが参画して決定し、その結果について引き受ける「地域自治組織」を構築していくことを想定しています。

従来行政が主導してきた地域の運営や方向づけに関する役割の部分、地域自治組織に委ねて「このサービスは必要なのか、これは皆でやれば良いのではないか、あるいは税金を使ってでもしつかりやろう」などと、自らが行政サービスの内容について吟味し、自己決定できる住民自治の町づくりを目標としたいと思います。

その道のりは遠いと思いますが、この歴史の転換点ともいえるべき今、私達が自らの知恵と力を合わせて、切り拓いて行かなければならない課題とあります。新設の地域政策課を中心にして懇談会を計画しますので、ご意見を聞かせ頂きますようよろしくお願い申し上げます。

## 持続的発展可能なまちづくり

人体では血液が動脈から体の毛細管を通じて静脈に循環して、健康を保っているように、町の健康と成長も「循環」を基調に進めて参りましょう。

私達は経済成長の過程の中で、いつしか効率の良いものや、便利なものなど動脈型に重きをおいて、ともすれば静脈型のを軽視してきました。その結果が公害問題や人権問題、犯罪の低年齢化など、社会のひずみとして現れていると思います。

従って町政において施策として静脈型の育成を図って、動脈型と相まって調和の取れた発展を期すべきであると考えます。これを一口で言いますとハード事業からソフト事業への転換を図っていくと云うことです。

ソフト事業の中心は人ですから、人が輝いて生きる生涯学習型社会を構築して参ります。その一環として人の交流や、地域間や国際交流など振興を図ります。また優れた技術や知識を持つ

優秀な人材を発掘し登録して頂き、学校教育や社会教育に活かして参ります。

健康で活動できるように保健活動や福祉活動に力をいれて行くことは当然ですが、病気に対しての医療体制の整備は西伯病院の改築で応えて参ります。

また静脈型産業の代表とも言える農業の振興を皆で図って行きましょう。施策の循環も必要です。住民参加と情報公開で行政サービスの吟味していけば、役割の終わったものや効果の薄いもの等が洗い出されて、施策の新陳代謝が計られるでしょう。

都市と農村、生産者と消費者など従来対極にあると考えられてきたものを、循環という切口から発想を広げ、都市住民の受け入れ体制や交流空間の整備といった施策につなげて参ります。

南部町のハード基盤はほぼ確立していますので、循環を基調にソフトの町づくりを進めていけば、持続的に発展していく町になることは疑いの余地がありません。

## 未調整の事務事業にJCTJCT

合併協議会においては一八八〇項目以上の事務事業を調整して参りましたが、合併後または平成一七年度以降に調整する事とされた未調整のものが約一九〇項目あります。これら事務事業を合併の名のもとで一挙に統一することは困難で、時間をかけて統一すべきであると考えられる課題も多いため、調整事項検討委員会を設けて、意見を聞きながら統一に向けた作業を進める事と致しました。

そのようなことから同じ町の中でも、統一までは公共料金など異なる扱いとなる事もありますので、事情ご賢察のうえご協力を賜りますようお願い致します。

終わりに皆様のご健勝を祈り、平和で災害のない飛躍発展の年になるように乞い願ひまして、新年のご挨拶と致します。

南部町長 坂本 昭文